

ファイバーチャネルカード (8Gbps) ご使用上の注意 (PYxFC211(L), PYxFC212(L))

このたびは、弊社の製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。

本製品をご使用になる上での注意事項がございますので、本書をよくお読みの上、ご使用願います。

2019年9月
富士通株式会社

1. 混在搭載

同一サーバに、本製品と PYxFC201(L)/ PYxFC202(L)/ PYxFC221(L)/ PYxFC222(L)/ PYxCN202(L)/ PYxCN302(L) を混在させることはできません。

2. Network Inventory

サーバ本体のリモート接続機能(iRMC)を使用して、本製品の World Wide Node Name(WWNN), World Wide Port Name(WWPN)を「System Information」-「Network Inventory」より表示させた場合、正しく表示されません。WWNN、WWPNを確認する場合は、本製品の Fast!UTIL あるいは QConvergeConsole より確認してください。本件は、以下の条件に合致した場合、正しく表示されます。

<iRMC S4 の場合>

- ・iRMC 7.82F SDR 3.06 以降
- ・BIOS 1.25.0 以降
- ・FC カード Boot BIOS v3.29 以降

<iRMC S5 の場合>

- ・iRMC 2.42P SDR 3.22 以降
- ・BIOS 1.9.0 以降
- ・FC カード Boot BIOS v3.29 以降

3. QConvergeConsole(QCC)

本製品の管理ツールである QCC をご使用になる場合、Internet Explorer(IE) 9 以降を使用してください。

なお、IE10 を使用した場合で、QCC が表示されない時にはアドレスバーの横にある[互換表示]のボタンをクリックすることで正しく表示されます。

4. SAN ブート構築時の BIOS 設定

SAN ブート構成を構築する際は、ブートに使用するポートのみ設定「Selectable Boot Settings」-「Selectable Boot」を有効にしてください。

(ブートに使用しないポートは、ブート設定を有効にしないでください)

以上